

株式会社先進知財総合研究所とは

特許庁登録調査機関として先行技術調査を行っています。専門的な経験と知識をもった技術者200名以上からなる特許調査のプロフェッショナル集団です。



新3年計画と新生AiRi

当社は今年、創立10年目を迎えます。これまで当社は、特許庁登録調査機関として顧客である特許庁からの信頼を得ることに、あらゆる経営資源を注ぎ込んできました。その結果、今年度中には、2012年に3年計画として掲げた「特許調査員数200名」を達成する見込みです。そして、今年4月には新3年計画のもとで動き出しました。

新3年計画では、「研究者・技術者が持っている潜在価値を社会に還元する」という当社ビジョンを念頭に、「売上35億円。うち5億円は新事業から生み出す」ことを目指します。この目標を達成するためには、「特許庁からの信頼をさらに高める」、「ITを利用して経営効率を高める」、「当社独自の資源を活かした事業機会を模索する」ことが不可欠です。



新事業に向けて

AiRiが継続的に成長、発展していくため、各調査員の知識・経験を生かした新しい事業を生み出すことを目指して、「新3年計画」がスタートしました。その初年度である平成27年度は、新事業の種としてAiRiが創業以来培ってきた先行技術検索能力を生かした新たな事業を始めます。

一つは、(社)発明推進協会に協力して行う「中小企業等特許情報分析活用支援事業」です。これは出願の先行技術文献調査や開発技術の周辺技術分析などを行います。もう一つの事業として、民間企業からの依頼を受けて特許調査、分析などの事業も始めます。

これらの事業は、特許庁の「検索外注事業」が入札結果に応じて一年間の業務量、収入が決まってしまうのに対し、お客様も業務量も収入も約束されたものではありません。また、今まではほとんど行ってこなかった営業的活動も必要となります。



担当は、社長室の新事業推進と特許調査部の新領域部門が主に担当しますが、これら新事業の種が大きく生長していくために全社員の協力をお願いします。



特許調査部長
高木 茂樹



関西支社大阪事務所

関西支社はH23年6月に京都御池で3名の調査員でスタートしましたが、3年で32名になり手狭になったこともあり、昨年11月に大阪北浜に新事務所(40席)を開設しました。現在は京都20名、大阪14名の体制で頑張っています。

北浜の大阪事務所は元大阪証券取引所の真ん前の北浜中央ビルの12階にあります。周りには花が咲き乱れる中之島公園があり、遠く生駒山も遠望できます。天神祭のときは、大川沿いの花火やドンドコ船が見えて大阪の夏祭りを楽しめます。

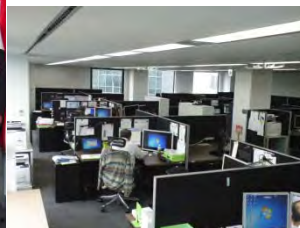
(ちなみに京都事務所は事務所の前を祇園祭の山鉾が巡航します。)大阪事務所には2名の女性事務員が居て、調査員のサポートをしています。オンライン対話の準備や対話出張時の持出し管理など東京の事務所にはない業務もあり、活躍中です。



取締役社長
石井 知



関西支社長
都志 勇





H26年度 AIRI賞 発表

- 【AIRI - E 賞】** 年間を通じて高い評価点を得た
- 【AIRI - K 賞】** 評価点の改善が著しい
- 【AIRI - B 賞】** オンライン対話の順調な開始に貢献した
- 【新人賞】** 新人のなかで特筆するべき実績
- 【AIRI会長賞】** 衆目が認める実績を残した



代表取締役会長
児玉 皓雄

AIRI-E 賞: A.Mさん

私の担当している区分3(材料分析)には、様々な分析対象に関する技術が含まれているので、それぞれの案件に応じた技術についてサーチを行う必要があります。そのため、日々のサーチ作業ではこれまで知らなかった分析対象について調査を行うことが多く、理解に労力を必要とすること多いですが、新しい知識を得ることに喜びを感じながら頑張っております。今後も、幅広い技術に対応した丁寧なサーチと対話での分かり易い説明を心掛けて、審査官に評価して頂けるよう努力したいと思います。

AIRI-E 賞: E.Mさん

このような受賞の機会を頂きましたことは、皆様方の深いご厚情の賜物であると存じます。

このたびの受賞を受けましたことを胸に、これからも、職場での仕事に励みながら、社員の一人として会社の発展に尽くしてまいります。

AIRI-E 賞: H.Tさん

E賞を頂き、ありがとうございました。早いもので、サーチャーとして6年目になり、今年には応用光学とナノ物理の兼務になりました。「仕事は楽しく」の精神で、これからも品質良いサーチを心がけて参ります。

AIRI-E 賞: G.Cさん

このような大変名誉な賞を頂き、ありがとうございます。何歳になっても成果を褒めてもらえるというのは嬉しいものです。このような賞を設けて頂いたことで、今後の日々の業務の励みになることと思います。

今年度も翌年の受注など会社の業績に貢献できるよう、ミスの少ない検索と、丁寧な報告を心がけていきたいと思っております。

AIRI-E 賞: T.Nさん

この度は、全く予期しなかったAiRi賞を受賞できたことは、青天の霹靂であり驚きとともに光栄に思います。今年で、材料分析(区分3)が3年目にあたりますが、この分野は今までに担当した光デバイスや事務機器と異なり、関連分野が医療機器を含め、広範囲に亘る分析技術が含まれており、難しいと同時に各方面の多くの知識に触れることができるため、知識欲を満足させてくれます。審査官の方々も個性的であり、また、親切でもあります。こうした環境が今回のAiRi賞の受賞につながったものと思います。

AIRI-K 賞: F.Aさん

この度、AiRi-K賞を受賞できましたことは、ひとえに指導者方のご指導あつての賜物と心よりお礼申し上げます。

これを良い機会とし、更なる知識力の向上に注力し、皆様のご期待にお応えできるよう努力してまいりますので、今後とも、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

AIRI-K 賞: H.Mさん

チッ！やっぱり当たっちゃったか。指導者まで「もう評価を落とせないからね」と引導を渡して行った…。いや待て、評価落ちたらもう一回K賞を狙うという手もあるな…。と邪念を抱いていたら本当にはまりそうだ。よっこらせっと、まじめに仕事しよう一つ。

AIRI-K 賞: E.Kさん

この度はAIRI-K賞をいただきありがとうございました。正直なところ思いもよらないことで驚いております。2年ほど前にある審査官から厳しい評価をいただき、行き詰った時期に、都志支社長、平井指導者方々に暖かく元気づけていただいたこと等、感謝とともに思い起こしております。その後、関係各位にも助けられて、一步一步ではありますが業務の理解を深め、今日まで継続できた状況ですので今回のK賞は私にとって何よりの労いであり、大きな喜びであります。今後は、この思いを抱きつつ業務を進め、様々な審査官の評価に適合できるよう努めていきたいと思っております。本当にありがとうございました。



AIRI-B 賞: K.Yさん

この度はAIRI-B賞を頂き大変うれしいです。オンライン対話とは、関西支社から特許庁の審査官とネットによる対話で、指導者が承認した案件を私達事務方が記入ミスをチェックした後、案件資料を総てPDFにしてフォルダに保存し案件書類は対話前日迄に特許庁に送付します。調査員の方々がPDFの作業を考えて早めに案件を仕上げられるので本当に助かりました。毎日オンライン対話が無事終了すると私もほっとします。最近ではオンライン対話の案件数も増えてますのでスムーズに進むように今後も調査員の皆さんの為に頑張ろうと思っております。本当にありがとうございました。

新人賞: S.Yさん

私は昨年6月に区分11(動力機械)の担当として入社しました。新規参入の区分で当初は調査員が私1人だけであったこともあって、勝手もよくわからず大変なこともありましたが、このような賞を頂くことができ励みになりました。今年は区分11も人数が増えて状況は変わりますが、何らかの貢献ができればと思います。

AIRI会長賞: M.Hさん

このたびは、栄えあるAIRI 会長賞を受賞することができ、大変光栄です。会社幹部、指導者、事務方、および、同僚の皆様方に支えられての受賞です。この場を借りてお礼申し上げたいと思います。今後とも、この受賞に恥じないよう、業務に取り組んでいきたいと思っております。なお、余談ですが、副賞は給与振込みではない方が、もっとうれしかったです。ありがとうございました。

AIRI会長賞: K.Tさん

このたびは、AIRI会長賞に選んでいただき恐縮です。昨年度は、調査者一人での区分を担当しました。自らの成績がそのまま翌年の評価につながるということで、密かな重圧を感じての一年となりました。今回の受賞で改めて、会社のお役に立てたのだなあ、と実感し、感慨ひとしおです。ありがとうございました。

AIRI会長賞: T.Mさん

受賞できたことを大変光栄に感じております。僕が受賞すると聞いたときは、他にはいないから当たりまえでしょ！とおもったけど、まあまあいい思い出になりました。ありがとうございました。